



お か だ か る こ

伊賀びと(名張市)岡田 かる子さん(72)



「ボランティア活動が元気の秘訣」とさわやかに語る岡田かる子さん。これまでに名張市ボランティア連絡協議会会長を8年間務めるなど、活躍の場は数えきれないほどの広がりを見せている。

大阪市内で会社を営んでいた父親が地域福祉に長年携わっていたことから、岡田さんも中学・高校時代から民生委員の手伝いをするなど人助けを身近なものに感じて育った。そして夫の転勤に伴い30年前に住んでいた静岡で、小学校のPTA役員として、女優の宮城まり子さん主宰のねむの木学園で中身の濃い1年間のボランティア活動をしたことが、その後の岡田さんの人生を方向づけた。

50歳で名張に転入。15年前に桔梗が丘の老人給食の開設に関わり、その4年後に自宅のある比奈知地区に老人給食「あいあい」を発足させた。その頃から市や県の各種ボランティア関連の要職を務めるようになり、現在は市老人クラブ連合会副会長兼事務局長等のほか、市自治基本構想委員会などにも所属。さらに、夫が会長を務める、高齢者のケアを目的にした「伊賀名張生きがいクラブ」の事務局長として多忙を極める毎日。岡田さんは「これからも命のある限りボランティア活動を続けたい」と笑顔で話した。

た か は し く に ひ と

伊賀びと(伊賀市)高橋 邦仁さん(64)

「これまでお世話になった社会への恩返しにと、定年を機にボランティア活動を始めた」という高橋邦仁さん。災害に強い人づくりを目指す防災活動に取り組んでいる。

北九州市出身。大学卒業後、60歳の定年まで自動車バッテリーの営業畑一筋で、45歳からの15年間は東京で単身赴任も経験した。趣味は読書とゴルフ。学生時代に日本拳法部で培った体力には今も自信がある。

定年の翌年の2002年、日赤青山町地域奉仕団設立に参加したことがボランティアへの第一歩になった。災害について学ぶために県主催のちいき防災塾に参加し、今年1月まで災害の歴史や防災への取り組みなどについて定期的に講習を受けた。

その間、三重県防災ボランティアコーディネーターの研修も受講した。同養成協議会委員として後進の指導にもあたるようになり、コーディネーターとして昨年は、「福井県今立町ボランティアパック」と「海山町ボランティアパック」に計3回参加(=写真)。貸し切りバスを利用したボランティアパックで、参加ボランティアが安心して作業に取り組めるよう綿密な計画を立てたという。

地元の日赤青山町地域奉仕団としては2003年から旧町内で、防災講座としてタウンウォッチングを開催。さらに、昨年からは東海地震を想定した図上救護訓練も行っており、近々発足する要支援援護者のための地域福祉防災検討委員会に向けた準備も進めている。



なんでもかんでも情報BOX

ひまわりコンサート16th

【日時】7月10日(日)開場12:30 開演13:00
 【場所】伊賀市文化会館さまざまホール
 【プログラム】ザ・ひまわりバンド
 小池千鶴子&リトルギャルズ
 ひまわり合唱団
 堀江美都子コンサート
 全員合唱
 【参加協力券】大人:1,200円(当日1,400円)
 小中高:500円(当日700円)
 【問い合わせ】上野ひまわり作業所
 電話 0595(39)1133

ギャラリー「楽」のご案内

郷土史話

【日時】7月15日(金)16日(土)13:00~
 【講師】森本昌樹 赤目町一ノ井在住(元警察署長)

素景展

【日時】7月22日(金)~25日(月)
 10:00~18:00(最終日17:00)

【作家】稲森伸治(油絵) 柳川朋子(日本画)
 中司好春(写真)

ギャラリー「楽」名張市松崎町1435

FAX 0595(63)2212 携帯 090(3389)4353 山下
 入場無料

市民活動のための広報力向上セミナー 「うまく伝える15のヒント」

【日時】7月30日(土)
 13:30~16:30 受付開始13:00~
 【場所】三重県伊賀庁舎4F第3会議室
 (伊賀市四十九町2802)
 【参加費】1,000円
 【講師】特定非営利活動法人 市民活動センター神戸
 理事長 実吉 威 氏
 【内容】人にものごとを伝えるのは、簡単なようでなかなか難しいことです。「一生懸命説明したのに…」、「そんなつもりではなかったのに…」ということは、誰もが経験することです。広報がうまくいかないのは、ほとんどが言葉やデザインの問題ではなく、「誰に、何を、どういうツールで伝えるのか」ということがうまく整理できていないことが多いようです。セミナーでは、伝えたいことを整理することからはじめ、多くのことが伝わるための15のヒントをお教えます。
 【募集人数】40人(事前申込が必要です)
 【問い合わせ】伊賀びとのおもい実現委員会事務局
 (伊賀県民局企画調整部地域計画・防災室)
 電話 0595(24)8003 FAX 0595(24)8010
 メール igabito@ict.ne.jp HP <http://www.igabito.jp/vision/>

初級園芸福祉士養成講座

【対象者】園芸福祉の活動に興味のある方
 【開催日】7月16日(土)~18日(月)
 9:00~17:00
 【会場】名張市役所(名張市鴻之台1-1)
 花みどりの里、くにつふるさと館
 【受講料】45,000円
 (テキスト代、材料費、お弁当代3回分含む)
 3日間の短期日程で講義と実習を合わせ、21時間の受講となります。全課程修了された方には、修了証が送られ、はじめて初級園芸福祉士資格を取得する為の試験を受けることができます。(試験は毎年2月に全国一斉で行われます)
 【主催】NPO法人 日本園芸福祉普及協会
 【開催事務局】環境園芸プランニング(株)緑生園
 〒518-0613 名張市上小波田1797
 電話0595(65)1666 FAX0595(65)8787
 【申込方法】HPから申込書をダウンロードし事務局へ送付
 HP http://www.33.ocn.ne.jp/~engei_fukushi/mie.html
 【申込締切】7月10日(日)

夏休みもてなし術講座 参加者募集!

伊賀市友生地区の旧家を拠点として、地域の方が世代の垣根をこえ、交流できる場所として6月25日にオープンしたNPO伊賀の友が、子どもの健全育成活動支援事業として、夏休みもてなし術講座を開講します。

【内容】抹茶お菓子のおもてなし術を学んでもらい地域の高齢者に振舞っていただきます。一緒にお茶をいただきながら交流しませんか?
 【開催日】
 7月26日(火)10:00~12:00
 8月2日(火)10:00~12:00
 8月23日(火)10:00~12:00
 8月30日(火)10:00~12:00
 【場所】伊賀市下友生2367番地(旧塚本宅)
 【対象者】自力で参加できる小学5、6年生
 【参加費】無料
 【申込方法】申し込みは往復はがきに住所、氏名、年齢、連絡先を明記して下記事務局に、7月10日までに送って下さい。(定員になり次第締め切ります。)
 【申込・問い合わせ】
 〒518-0817 伊賀市下友生2367
 NPO伊賀の友 事務局 上田
 電話 0595(23)2329夜
 0595(23)2421昼

太陽作業所チャリティーバザー

伊賀地区精神障害者通所授産施設「太陽作業所」の運営を支援するために地域家族会が中心となってチャリティーバザーを開催します。

- 【日時】7月24日(日) 10:00~14:00
- 【場所】上野ふれあいプラザ3階中会議室
- 【主催】地域家族会(はくほう会)
- 【共催】社会福祉法人 伊賀昴会
- 【問い合わせ】太陽作業所(伊賀市四十九町)
電話 0595(24)7897

05 おおやまだチャリティーカラオケ大会 出場者・観覧者募集のご案内

このたび、ましのささゆり・山田すずらんがおおやまだチャリティーコンサートを開催することになりました。歌好きな皆様の参加を募集しております。

- 【日時】8月28日(日) 9:30~
- 【場所】どんぐりホールアニーズ2階(伊賀市平田)
- 【出場定員】100名(*先着順)定員になり次第締切
- 【参加費】3,500円(昼食代含む)
- 【主催】ましのささゆり(代表森貴義)
山田すずらん

【申込・問い合わせ】
森大建地産 0595(48)0332
中林孝江 0595(47)0951
*応援・鑑賞される方は事前申込・入場料は不要です。お気軽にお越し下さい。入場の際にチャリティーのご寄付をお願いします。

第55回社会を明るくする運動協賛 BBSアコースティックライブ 05

【趣旨】“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。今回、啓発活動の一環として、次代を担う青少年に音楽を通じた健全育成の場を提供することによって、本運動に対する理解を深めてもらうことを目的にアコースティックライブを行います。

- 【日時】8月7日(日)
12:30開場 13:00開演
- 【主催】名張市BBS会・伊賀市BBS会
- 【会場】名張市総合福祉センターふれあい1階ふれあいホール
電話 0595(63)1111
- 【内容】20歳以下を中心としたメンバーによるアコースティックライブ(入場無料)
(電子楽器を使用しない、アコースティック(生)楽器を使用した音楽)



【問い合わせ】
上野ふれあいプラザ内 伊賀市BBS会事務局
(担当:田辺)
電話 0595(21)5866 FAX 0595(26)0002
メール nabaribbs@mail.goo.ne.jp
ホームページ http://members.goo.ne.jp/home/nabaribbs

イガデハク2005 = 伊賀で博覧会 アート・クラフト作家、交流の場出展者 運営委員 = イベント体験、メンバー募集

伊賀で博覧会実行委員会(主催)では12月3日・4日に県ゆめドームうえので開催します。

「伊賀で博覧会 = イガデハク2005」の参加者・協力者を募集します。

伊賀でつながる・伊賀からつながるを合言葉にアート・クラフト作家の展示空間を中心に、地域で活躍する仲間たちと「つながり」を深めることでより大きな価値をそこから生み出していくことを目指します。

- 【事業概要】
日時: 2005年12月3日(土)4日(日)
会場: 県ゆめドームうえの第二競技場
ゆめぼりすセンター

<参加資格>
自らをアピール・交流ができ、少しでも準備やPRに協力できる方
打合せ事項など、合意形成を尊重できる方

<ブース展示>
アート・クラフト作家 40コマ
交流の場 出展25コマ、ボランティアやまちなかの活動の紹介など

<ステージ参加>
45分まで、アコースティック音楽や踊り、パフォーマンス・ファッションショーなど。10枠まで募集

<運営委員 = イベント体験>
イベントを支えて下さるメンバー = 「運営委員」を募集します。会議から机運びまで、イベントに触れる事でそのノウハウを吸収して下さい。

イベントに興味のある方なら、誰でも参加可能。
集まりは月に1回程度で、メールやFAXの情報手段を活用します。

メールやFAXのみの参加も可能です。
<お問い合わせ>

HP <http://www.g-ring.com/event/igadehaku.htm>
伊賀県民局企画調整部
電話: 0595(24)8003
FAX: 0595(24)8010
メール: nishin07@pref.mie.jp
伊賀で博覧会実行委員会(事務局: えこころ倶楽部)
FAX: 0595(52)3845
メール: webmaster@g-ring.com

<締め切り>
10月末までですが、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

伊賀子育てメルマガ購読募集中!

購読希望の方は下記のページにアクセスして登録して下さい。不定期に発行しています。

- 【パソコンからの場合】
<http://www.hanzou.or.jp/kosodate/kouryu.htm>
- 【携帯からの場合】
<http://www.hanzou.or.jp/i/kosodate.htm>

要チェックホームページ

最近の傾向として、行政情報が膨大になり、広報等に掲載しきれないことが見受けられます。市民活動に関する助成や支援制度があっても、申込期限に間に合わなくて結果的に活用できないことがあります。そのため、ホームページに最新情報を掲載するケースが増えてきています。情報は受けとる時代から自ら探す時代になってきたのかも知れません。

そこで、ここだけは押さえておきたいホームページを紹介するので、こまめにチェックしてみてください。きっと、びっくりするような情報を見つけることができると思います。インターネット環境にない方は、公共施設等で閲覧できます。伊賀市では自治基本条例が制定され、名張市でも来年に制定される予定ですが、市役所情報は、市民として情報を知る権利がありますので、必ずチェックするようにしましょう。そんな情報知らなかったではすまされない情報もあるかも知れません。

伊賀市役所 <http://www.city.iga.lg.jp/>

名張市役所 <http://www.city.nabari.mie.jp/>

伊賀市・名張市広域事務組合

<http://www.e-net.or.jp/user/iga-7/>

伊賀県民局 <http://www.pref.mie.jp/D2IGA/>

生活環境森林部 <http://www.pref.mie.jp/gseikan/hp/>

三重県庁 <http://www.pref.mie.jp/>

生活部NPO室 <http://www1.mienpo.net/npot/>

みえ市民活動・ボランティアセンター

<http://www.mienpo.net/center/>

助成金情報

第3回MPドリーム助成金募集

主催 / 三重県遊技業福祉連合会

受付締切 / 8月15日(月)必着

助成の対象となる団体 / 三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ

助成の対象となる活動 / (1) 学習会・研修会の開催 (2) 調査・研究の実施 (3) 福祉教育・ボランティア啓発の実施 (4) ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動 (5) 器具・器材の購入 (6) その他

対象事業の期間 / 平成18年1月1日～6月30日

助成の額 / 1団体20万円以内(40グループ以内)

応募方法 / 所定用紙は下記のホームページからダウンロード。郵送で申請。

問い合わせ先 / 三重県遊技業福祉連合会事務局

514-0006 津市広明町328(株)津ビル内

(担当: 山川、山添)

Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyoo/>

上記以外の助成情報は、社会福祉協議会ボランティアセンターや市民活動支援センター等で入手することができます。お気軽にご相談下さい。

活動分野別に、様々な助成団体による助成制度がありますが、助成金額や時期、対象が異なりますので、早めに資料を取り寄せて検討することをおすすめいたします。

大人のわくわくカレッジへのお誘い

人生を豊かに楽しく生きるために、4月から開講したNPOが運営するカレッジです。

7月の講座案内

7月 1日(金) 10:00～12:00

「おもいきり童謡を歌う会」

7月19日(火) 10:00～12:00

「シニアのおしゃれ教室」

講師: 谷口 清美さん

元化粧品会社のビューティコンサルタント
カラーコーディネーター。

内容: いつまでも若々しくあるために。
あなたは何歳に見えますか。
若く見える人と老けて見える人は
どこが違うのでしょうか?

【場所】 人と人との出会い館「カナダ」
伊賀市阿保2034(青山福祉センターの裏)

【募集人数】 20名

【参加費】 実費 詳細はお問い合わせ下さい。

【申込方法】 電話・FAX・メールのいずれかで。

【問い合わせ】 ロイヤルコミュニケーション友の会
Tel/Fax0595(52)1773 吉川 メール ykeiko@ybb.ne.jp

特定非営利活動法人うへの託児所ドリーム

家庭的な雰囲気のと児所で、24時間保育しています。子育ての大切な時期をゆったりとした環境の中で楽しく子育てしてみませんか?

子育て相談や園庭開放もしています。親子でも、お友達と一緒にでも、お気軽にお出かけ下さい。

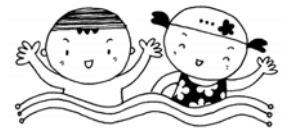
保育料や保育内容についてもお気軽にご相談下さい。

【参加申込・問い合わせ】

うへの託児所ドリーム

伊賀市緑ヶ丘西町2399-1

電話0595(26)3327



名張 子どもの本の連絡会

講演会のお知らせ

【日時】 7月23日(土) 午後1～3時

【場所】 名張市立図書館2階視聴覚室

【講師】 北畑 博子 先生

【講演内容】 『科学の本もおもしろい』

【対象】 大人・子ども連れ可(保育無し)

【参加費】 無料【定員】 60名

定員に満たない場合は当日受付できます。

【申し込み】 名張 子どもの本の連絡会

メール gum-cat@nava21.ne.jp (中畑智恵美) に、

7月20日までにお申し込み下さい。

名張っ子連HP <http://www.nava21.ne.jp/~ehon>



伊賀市市民活動支援センター

第2回伊賀市市民活動支援センター運営委員会を開催します

日時:平成17年7月21日(木) 午前10:00~
場所:伊賀市市民活動支援センター
内容:支援センターの今後の進め方について 他
※傍聴可能ですが、会議室の都合上、人数制限をさせていただきますので、下記までお問い合わせください。

第1回運営委員会の概要は、伊賀市のホームページで公開していますので、ご覧ください。
URL <http://www.city.iga.lg.jp>



当センターをご利用くださる皆様へ

保管ロッカーとメールボックスの登録者(団体)募集のお知らせ

伊賀市内で「市民活動」を行っている方、またはこれから行おうとする方にご利用いただけるメールボックス(私書箱)と保管ロッカーの登録利用者を募集します。

募集期間 平成17年7月19日(火)~8月12日(金)まで
使用料 メールボックス、保管ロッカーともに無料です。
使用期間 平成17年9月1日から平成18年3月31日
【メールボックス(私書箱)】募集数 44個
各団体間の連絡や文書・チラシの配布、また当センター経由で郵便物等を受け取る私書箱としてご利用いただけます。
【保管ロッカー】募集数 12個(H41.5×W26.0×D35.0)
活動に関する備品・事務用品等の保管場所としてご利用いただけます。
※詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

〒518-1395 伊賀市馬場1127番地(伊賀市阿山支所西隣)多目的集会所施設内
電話:0595-43-1135(代表) FAX:0595-43-2204 E-mail:igasksc@ict.ne.jp

S O U W A 9 9 9

高齢者フラワーアレンジメント教室開催のお知らせ

SOUWA 999はみんなの人づくり、まちづくりをテーマに活動しています。花を飾るゆとりと、美しいものを思う気持ちをいつまでも持ちつづけていただきたいという願いからフラワーアレンジメント教室を開催する運びとなりました。多数の方々のご参加をお待ちしております。

【日時】毎月第3土曜日 午後2時~4時まで

【場所】上野ふれあいプラザ3階

【参加費用】1講座300円

【対象者】満65歳以上の方

多くの方々に参加していただきたいので、お一人様1講座とさせていただきます。

【開催日】7月16日、8月20日、9月17日

10月15日、11月19日、12月17日

平成18年1月21日、2月18日

【申込方法】電話にて参加日・氏名・連絡先をお伝え下さい。

【ボランティア募集】私たちと一緒にユニバーサルデザインのまちづくりしませんか?

【問い合わせ・申し込み】SOUWA 999

三重県伊賀市上野丸之内117

電話 0595(23)0284

FAX 0595(24)0106



NPOバリアフリースタジオ「同夢」

「同夢」@ユニバーサルデザイン専門の市民活動団体です・<http://www.doumu.net>



参加してね

採択されました!! 名張市民公益活動実践事業

「ユニバーサルデザイン情報提供事業」

6月より事業を実施しています。ユニバーサルデザインの視点(だれにでもわかりやすい)をもって、名張市内公共施設の調査をします。事前学習会(9月)・調査(10、11月)・報告会(06年1月)現地調査をとおして、ユニバーサルデザインを知り、深め、学ぶ「場」です。どなたでも参加できます。詳細は同夢ホームページ。または、孫までご連絡をください。TEL(23)9513

住環境アドバイザー「同夢」 無料・バリアフリー住宅改修相談をします。

日時:7月3日・10日・17日・24日・31日の日曜日

13:30~15:30

場所:名張市パークシティなばり 2階 暮らしの情報センター「同夢」

同夢には専門資格者がいます

一級建築士・二級建築士・住まい改修アドバイザー

福祉住環境コーディネーター・福祉用具専門相談員 ほか

連絡先:伊賀市四十九町/TEL(23)9513 孫(そん)まで



はい！こちら
伊賀県民局
NPO担当
竹田です。

電話 0595(24)8137
FAX 0595(24)8112
メール gseikan@pref.mie.jp



今年も「協働塾」がスタート

伊賀県民局がすすめる市民やNPOなどの団体からの協働テーマに関する提案募集には、皆さんから5つの提案がありました。平成15年度にスタートしたときには15提案と多かったのに、昨年は4提案、今年は5提案と数量としては低調と感じておられるかもしれませんね。正直なところ私自身もそう感じています。

伊賀地域においては、この他にも伊賀びとのおもい実現委員会が募集する『伊賀びとのおもい民間事業支援補助金』、県民局では『伊賀らしい風情形成事業補助金』、名張市では『市民公益活動実践事業』と、ここ数年の間に市民が独自に公益的な活動を展開するのを財源面で支援する制度が生まれています。それぞれに対して今年度提案あるいは申請された件数は、14件、9件、34件となっています。こうした制度は、これまでのように公益的な取り組みは行政にお任せしようというのではなく、市民が自分たちにできることは自分たちですすめていこうという動きをどんどん拡大することにつながっています。

一方で、これまで具体的に手をつけてなかった問題については、自分たちができること、行政との連携が必要なことなど未整理の部分があると思います。そこで、そうした課題に対して、誰がどのように行動を起こそうか、税金を活用していくべきだろうか、支障となることはないかというようなことを実際に議論して、役割分担や協働の範囲などを決めつつ進めるのが「協働塾」という新しいスタイルです。

今年、5件の提案について6月12日に提案者からプレゼンテーションをいただき3件の提案を採択しました。それは「不就学児童生徒支援からの多文化共生づくり」（提案者：多文化共生ネットワークいが外国人支援専門部会）、「近鉄伊賀線の利用促進協働塾」（提案者：ふるさと鉄道保存協会ワフ30037伊賀ワーキンググループ）、「自治基本条例が定着した伊賀地域のまちづくり」（提案者：W.T.Aまちづくりセンター）というものです。これらそれぞれに「協働塾」を開設して検討を始めます。

「協働塾」では提案者の主体性を尊重するため、提案者に塾の運営を委託する方式をとっています。塾の内容はホームページなどでどんどん公開していきます。皆様、是非ご参加下さい。また、同時にこの制度に対するご意見もお待ちしています。（伊賀の「協働塾」HP <http://www.pref.mie.jp/gseikan/hp/kyoudo/bosyu.htm>）

室地聡の一刀両断世相“斬り” (五)

「日本無駄遣い考」

社会保険庁の役人共が天下り先を確保するために、ろくに売り上げや利益見通しなども立てずに、なんとかピアなる施設を全国各地に建てたり、職員の研修センターにゴルフ練習場を付設したり…。この無駄遣いの総額が6兆円とも7兆円とも言われているが、われら一般庶民は“兆”なんて言われても全くピンとこない。が、実は大変な額なのであります。どう大変か、ちょっとやってみましょう。

突然ですが、あなた、1千万円の宝くじが当たったらどうします？もう嬉しくて、手の舞い足の踏むところを知らず…でしょう？その1千万が三日、1週間、1ヶ月…ずーっとあたり続けたら？目を回して卒倒しちゃう…？そんなことじゃあ“1兆円”を論じる資格無し！いいですが、1年365日当たり続けても、たったの36億5千万、十年で365億、百年でやっと3650億。やっと三分の一強でまだまだ足りない！毎日毎日1千万円の宝くじが当たり続けて、それが1兆円になるには、なんと273年9ヶ月かかるのです（むろん閏年も計算に入れてあります）。273年前といえば、徳川幕府八代將軍吉宗の時代。その頃から1日も欠かさず1千万が当たり続けてやっと1兆円。7兆円なら1900年、（1900年前と言えば弥生時代ですぞ！）、とにかく桁外れも大桁外れの金額。こんな大金をやつらは天下り先を確保したり、つまみ食いしたり…勝手放題のしたい放題。あいつら、よく“不適切な予算執行”という言い方をしますが、不適切どころか、立派な犯罪行為。考えてみれば、我々はあくせく働いて得た虎の子を年金保険料として犯罪者集団に預けていたようなもので、これじゃあ年金制度が崩壊するのは火を見るより明らか。そして年金制度崩壊を見越して、その時の言い訳、「俺達が悪いんじゃないよ、出生率が低くて人口が減ったから、年金制度は潰れたんじゃないか」そういう言い訳をやつらは周到に用意しかかっている、そう考えるべきでありましょう。

この他にも道路公団の赤字がなんと40兆円。これも元元はといえば、郵貯・簡保、つまりはしががない庶民の金。こいつらのしたい放題を許してきたというか、場合によっては手を貸したり、つるんで来たと言われても仕方のない政治家たち。この国はこういう手合いに任せるとは滅び去ること必定。組織暴力団など足元にも及ばない国家的大組織、官僚機構とそれに手を貸し、甘い汁を吸う政治家たちの跳梁跋扈を許さないために、今こそ我等は立ち上がるべきであろう。また年金制度が崩壊したから、仕方がない、死にますというわけにはいかない。とくに現在の年金受給者諸君は、制度の崩壊を見越してその対策を本気で考えなければならぬことになる、そう警告を発してこの稿を閉じよう。かくゆう拙者も未だに宝くじに当たったことはない・・・残念！



跳梁跋扈（ちょうりょうばっこ）・・・悪人など好ましくない者がわがもの顔にのさばりはびこること。

なぎの「ぷらっと会議」通信



6月のぷらっと会議には11名が参加しました。前々から思ってたなかなか実行できなかった伊賀管内の担当者間が共有のコーディネートシートを使って仕事ができないか、という提案をさせていただきました。また、それに絡んで、社協サイドでのコーディネーター養成講座の検討などにも取り入れて、来年4月くらいをめどにコーディネートシート作りのセミナーを開催していこう、と言うことで話がまとまりました。

次回ぷらっと会議のご案内

7月のぷらっと会議

【日時】7月6日(水) 18:30~21:00

【場所】大山田農村環境改善センター

8月のぷらっと会議

【日時】8月4日(木) 18:30~21:00

【場所】伊賀市市民活動支援センター

早速、翌日には添付メールでぷらっと会議のメンバー全員にコーディネートシートサンプルを送付しました。これが広がって定着すればコーディネーター間の情報共有も、利用者向けの情報発信も、かなり効率が良くなると思っています。でも、現在のシートでは共通に使うにはいろいろ使いにくい課題もあるようです。と言うわけで、どんどん進化していくぷらっと会議です。個人が力をつけるだけではなく、組織としての底上げの部分にも力をつけていきたいなぁと思っています。

鬼瓦編集長の市民活動時事批評

「JR西日本脱線事故にみる市民としての判断」



4月25日、JR西日本で107人もの犠牲者を出した痛ましい脱線事故があったことは記憶に新しい。人の噂も七十五日とよく言ったもので、今では、何事もなかったように運転が再開されている。

あの事故について、JR西日本への様々な批判が噴出したが、その中で、市民活動という観点から興味深い判断があった。一つは、たまたま事故車両に乗り合わせた二人の運転士が事故現場で救助に加わず、上司に電話連絡した上でそのまま職場へ向かった行為である。そこには、一人の市民としての判断ではなく、一人の社員としての判断があったのだろう。

もう一つは、事故現場近くの工場の従業員らが、ボランティアに救助に駆けつけたという行為があった。この行為こそ、一人の市民としての自発的な行為であったに違いない。必要な時に、自信を持って「市民としての判断」をすることが問われた一瞬である。

市民としての判断をするためには、日頃の「市民」として生きている時間の長さや質が重要になる。一日の大半を組織の一員として過ごしている企業人は、特にこのことを意識する必要があるだろう。今回の脱線事故における二つの判断は、現代社会における市民活動への参加の重要性を語る上で、大きな意味を持つ判断だと言える。(大阪ボランティア協会発行 Volo2005年6月号 筒井のり子氏のV時評より引用)

発行 〒518-0869 伊賀市上野中町2976番地1 上野ふれあいプラザ3階 伊賀び～と編集委員会
電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002
E-mail ue-vac@hanzou.or.jp ホームページ <http://www.hanzou.or.jp/beat/>

窓口=プラットホーム

- 伊賀市市民活動支援センター 〒518-1395 伊賀市馬場1128番地 多目的集会施設内
電話：0595(43)1135 FAX：0595(43)2205 E-mail：igasksc@ict.ne.jp
- 名張市社会福祉協議会 〒518-0718 名張市丸之内79 名張市総合福祉センターふれあい
電話：0595(63)1111 FAX：0595(64)3349 E-mail：n.furevc@nava21.ne.jp
- 伊賀市社会福祉協議会 〒518-0869 伊賀市上野中町2976-1 上野ふれあいプラザ3階
 - 上野支所 電話：0595(21)5866 FAX：0595(26)0002 E-mail：ue-vac@hanzou.or.jp
 - 伊賀支所 〒519-1413 伊賀市愛田513 いがまち保健福祉センター「愛の里」
電話：0595(45)1012 FAX：0595(45)1050 E-mail：iga-vac@hanzou.or.jp
 - 島ヶ原支所 〒519-1711 伊賀市島ヶ原4743 島ヶ原老人福祉センター「清流」
電話：0595(59)3132 FAX：0595(59)3145 E-mail：shima-vac@hanzou.or.jp
 - 阿山支所 〒518-1313 伊賀市馬場1128-1 阿山保健福祉センター
電話：0595(43)1854 FAX：0595(43)1577 E-mail：aya-vac@hanzou.or.jp
 - 大山田支所 〒518-1422 伊賀市平田656-1 大山田福祉センター
電話：0595(47)0780 FAX：0595(46)1165 E-mail：oo-vac@hanzou.or.jp
 - 青山支所 〒518-0226 伊賀市阿保1988-1 青山福祉センター
電話：0595(52)2999 FAX：0595(52)3555 E-mail：ao-vac@hanzou.or.jp
- W.T.Aまちづくりセンター 〒518-0867 伊賀市上野福居町3317 E-mail：nagi_47_4_3@yahoo.co.jp
電話：0595(24)7612 FAX：0595(22)0072 携帯mail：nagi-47.4.3@ezweb.ne.jp
- 暮らしの情報センター 〒518-0441 名張市夏見字下川原251-1 パークシティなばり2階「C.O.T café」
電話：0595(61)2355 FAX：0595(61)2355 E-mail：cot@e-tuji.com